

タピネット

札幌市自立支援協議会
東区地域部会
号外 令和8年7月発行



東区地域部会では、強度行動障がい支援に携わる支援者の育成を目的として、「強度行動障がい支援者育成モデル研修」を実施しています。

この研修は「標準的な支援についての理解を深める」「事例を通じて具体的な支援方法について知る」「支援者間のネットワークの向上」を目的とし、基礎的な内容の確認とともにグループワーク等の演習を多く取り入れた構成となっております。

今回は、「アセスメントから強みを知る」がテーマでした。

「アセスメント」と聞いてもどのような視点で理解を深めたらよいのか、どのような方法があるのか、「アセスメント」をどう活かしていけばよいのかといった疑問があるかもしれません。そのように感じる課題を現場に戻った時に少しでも解決できるように、主に下記のポイントでお話させていただきました。

- ・何のためにアセスメントするかを考える
- ・どんな時でもご本人を理解する機会になる
- ・言葉のみではなく、書面に残し積み重ねていく
- ・アセスメントは継続的または複数人で行う

「アセスメントを活かす」と実践的に捉えると難しく感じてしまうこともあるかもしれません。そのため、演習を通じて「書く」ことや「伝える」ことを体験していただきました。動画を見て、行動から障がい特性を理解し、文字に起こす演習を行っています。個人ワークからグループへと共有することで視点や書き方の工夫について色々な情報が得られたと思います。

また、実際にアセスメントツールを使いながら評価のポイントについてもお話をさせていただきました。みなさんの実践にも活かしていただけたらと思います。

継続的かつ実践的な学びの場で支援力の向上と支援者同士のつながりを強めていきましょう。



【次回のお知らせ】

テーマ：環境調整の理解と支援ツールの作成

と き：令和8年7月17日（金）18：30～20：30

ところ：東区役所3階第2会議室（東区北11東7）

さんか：下記のリンクまたは右QRコードからお申し込みください

→申込先は[こちら](#)

主 催：札幌市自立支援協議会東区地域部会

QRコードはこちら

